

蒲田駅東口駅前広場・地下自転車駐車場整備計画の整理

【整備目標】		初動期整備		中・長期整備
1. 歩行者環境改善による駅利用者の快適な利用と駅周辺への回遊性の創出 2. 交通機能の集約・再配置による公共交通利便性の向上 3. 自転車駐車場整備による自転車利用環境の向上と暫定自転車駐車場跡地の活用		<b>【初動期整備目標】</b> ●歩行者環境の改善を重視した整備 ●駅前広場地下を活用した自転車駐車場の整備  <b>【前提条件】</b> ●駅前広場都市計画変更及び地下自転車駐車場都市計画決定 ●駅前広場南側用地の取得		<b>【中・長期整備目標】</b> ●初動期に続く交通施設の集約化  <b>【前提条件】</b> ●東口駅ビルの建替え更新 ●新空港線関連用地の取得 ●上空利用による面積拡張
区分	整備目的	初動期整備内容	初動期整備における調整事項	中・長期整備の方向性
歩行者環境	○十分な歩道幅員の確保 ○回遊性につながる動線の確保 ○安全な動線の確保 ○ゆとり空間の確保	◆歩道幅員の拡幅・調整（サービス水準：A水準確保） ◆主要な回遊軸（ぼぷらーど・中央通り・アロマスクエア方面）を考慮した動線確保	◆歩行者交通量等を踏まえた歩道幅員・形状調整 ◆駅前広場形状等による中央横断歩道の幅員調整 ◆広場南側荷捌き車両動線部の歩行者の安全確保	◇ペDESTリアンデッキ設置による自動車動線交錯の解消（中央横断歩道の廃止）・バス乗車場スペース確保
バス利用	○利用しやすい乗車場・降車場の配置 ○効率的な運用による乗車場・降車場数の整理	◆補助36号線上の降車場を駅前広場に配置 ◆補助36号線上の乗車場を支障のない範囲で駅前広場に配置 ◆アロマスクエア方面にある横浜銀行横の降車場廃止による歩道拡幅	◆現補助36号線の降車場・乗車場数及び運用の調整 ◆アロマスクエア降車場等運用調整 ◆シャトルバス広場北側流出方向の協議	◇全乗車場の配置（箇所数の調整） ※アロマスクエア横、降車場の検討
タクシー利用	○利用しやすい乗車場の配置 ○適正台数分の待機場の確保	◆交通島を活用した待機場の確保 ◆待機場とつながる乗車場位置の確保	◆必要台数を踏まえた待機場の確保（隔地等） ◆広場内降車スペースの確保	◇タクシー利用スペースの新設
一般車両	○通過交通分離による駅前広場内への進入抑制	◆駅街路2号線から補助36号線方向の一般車動線の分離		
自転車	○周辺暫定自転車駐車場の解消 ○利用しやすい自転車駐車場整備 ○自転車ネットワーク路線を踏まえた走行環境整備	◆駅前広場地下自転車駐車場の整備 ・平置き、機械式併用 ・広場北・東・南に自転車用出入口を設置 ・広場南・交通島内に歩行者用出入口を設置 ・北側地下通路を活用した自転車東西連絡通路	◆必要台数・安全確保のための公共用地外活用、北側地下通路活用の協議 ◆走行空間を考慮した出入口の設置	◇補助36号線北側の自転車出入口の設置検討（利用状況による） ◇東西自転車連絡通路の再整備

初動期整備における駅前広場形状

【関係機関調整事項】

- ・広場北側滞留車両流出時の安全確保（駅街路2号線方向転回）の案①・案②による協議
- ・バス降車場・乗車場数・配置位置
- ・タクシー乗車場位置、待機場台数
- ・広場南側荷捌き車両動線の確保

